

1 題材『四季のカレンダーを作ろう』 小学校(中・高学年)

2 題材の目標

- 作品の形や色などの造形的な要素に着目し、四季に対する自分のイメージと結びつけることができる。(知識及び技能)
- 作品の造形的な要素から四季に対する自分のイメージを感じ取ったり他者と話し合ったりし、自分の見方や考え方を深めることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- 地域の作品について感じたことを話し合い互いの作品の見方や感じ方を深めることを通して、地域の作品について主体的に鑑賞しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

3 主眼

作品の造形的な特徴に注目しながら、自分の四季のイメージと結び付けたり、感じたことを友達に伝えたりする活動を通して、地域の作品鑑賞に親しむことができる。

4 準備

edukenbi(えでゅけんび)のアートカードサイト

5 展開

(45)

段階	学習活動・内容	支援のポイント	形態	配時
見通しをもつ	1 数種類のカレンダーを見て、本時の学習のめあてをつかむ	○数種類のカレンダーを提示し、カレンダーの特徴について気付いたことを発表させる。 (テーマ、季節、行事、写真、絵画、イラストなど)	全	5
	めあて 地域ゆかりの作品を使って、自分だけの四季のカレンダーを作ろう			
考えをもつ	2 月ごとのカレンダーのページを見て、四季を感じさせる根拠となるものを(理由)を考える (季節感のある生物、植物、風景、色、形、表情、動き、模様、並び方、構図など)	○使われている素材(写真、絵画、イラスト等)について気付いたことを発表させる。 ○四季のイメージを表すのに、色や形といった造形的な要素が影響していることに気づかせるようにする。	全	5
広げ深める	3 アートカードサイトで、自分のカレンダーを作る	○支援者がアートカードサイトを使って、デモンストレーションをしてみせる。	個	20
	4 作ったカレンダーについて交流する グループ交流→全体交流 ・なぜこの作品を選んだのか	○造形的な視点から、選んだ根拠を述べさせたり、質問したりする。	グ 全	10
振り返る	5 本時の活動について、気づいたことや感想を発表する	○数人に発表させ、出てきたキーワードから支援者がまとめる。	個 全	5
まとめ(例) ★季節のイメージやその表し方は人それぞれ異なる。 ★色や形などから季節を表現することができる。 (★地域の作品には季節を感じる事ができるものがたくさんある。)				